

備前市施策評価シート

(平成19年度事業)

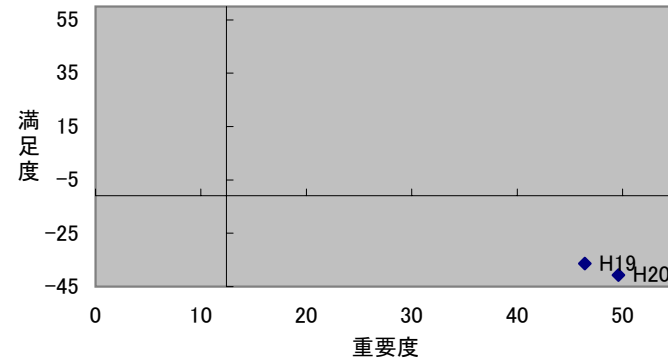
施策名 (小項目)	その他事務管理(職員)	コード	06-01-15	作成者	総務課長 馬場鉄二 電話 64-1807
		役職		氏名	
		電話番号		氏名	

備前市総合計画の内容から記載する

政策の体系	大項目(基本目標)	健全で自立したまちづくり
	中項目(基本施策)	簡素で効率的な行財政運営
① 施策の対象と目的 (誰のために、何のために)	地方公務員法第42条に基づき、職員の福利厚生を図り、その能力が最大限に生かせるようにする。	
② 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	合併や社会情勢の変化、地方自治を取り巻く状況の変化から職員にかかる負担が増大し、ストレスを溜め込む職員が増え、健康を害する職員が出ている。	
③ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 職員健康診断 職員健康相談 体育大会などの保健事業 職員衛生委員会の充実 	

④ 市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H19	H20	H21
重要度(%)	46.4	49.6	
満足度(%)	-36.4	-40.7	



高
↑
満足度
↓
低

低 ← 重要度 → 高

平均

<見直し領域>
その施策や事業が必要か否かの検討が必要

<維持領域>
現状の方向を継続

<検討領域>
その施策や事業の存続の検討が必要

<強化領域>
内容等を見直し、市民満足度を高める事業を行う

調査結果に対するコメント、市民の反応等

調査対象でない施策の場合は、市民の反応等

行財政改革に対する市民の要求は厳しく、十分に答えられていない。より、効果的に進めるとともに、経過を公表していく必要を感じた。

⑤ 施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績			目標値			ベンチマーク	指標の説明
		H17	H18	H19	H20	H23	H28		
1 健康診断の受診率	目標	%	100	100	100	100	100		受診者数/対象者数
	実績	%	99	99	99.9				
	達成率	%	99	99	99.9				
2 休職者の率	目標	%	1	1	1				休職者数/全職員数
	実績	%	2.3	1.1	0.3				
	達成率	%	230.0	110.0	30.0				
3 保健事業の参加者数	目標	人	232	227	223				30パーセントの参加を目指す
	実績	人	142	158	162				
	達成率	%	61.2	69.6	72.6				
4 被表彰者数	目標	人							
	実績	人	25	19	10				
	達成率	%							

⑥ 施策構成事務事業の評価

施策を構成する事務事業	事務事業評価結果 A~E (高~低)	細事業	事業分類	事業費等(単位:千円,人)									H20当初予算		
				H17			H18			H19					
				直接事業費	人件費	人工数	直接事業費	人件費	人工数	直接事業費	人件費	人工数			
1 福利厚生事業	B	表彰事務事業	内部管理	1,221			955	240	0.05	105	0	0.00	☆	\$	0
		厚生費補助事務事業	内部管理	1,873	5,130	0.75	2,020	2,530	0.40	1,927	75	0.01	☆☆	\$ \$	2,270
		健康相談事務事業	内部管理	90			180	920	0.10	180	185	0.02	☆☆	\$ \$	180
		健康診断委託事務事業	内部管理	2,224			2,029	1,490	0.25	2,037	299	0.04	☆☆☆	\$ \$ \$	2,641
2 特別職報酬等審議会事務事業	D	特別職報酬等審議会事務事業	内部管理	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	☆	\$	130
この施策に費やした資源(単位:千円,人)				H17	H18	H19	H20当初(直接事業費)								
				5,408	5,130	0.75	5,184	5,180	0.80	4,249	559	0.07	5,221		

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果

⑧ 施策の評価

項目	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い			
	一次評価		二次評価	
	評価	判断理由	評価	判断理由
1 目的達成度(中・長期目標に対する)	3	病気休職者の復帰への対応を検討する必要がある。	3	復職プログラムを試行中である。
2 事業構成の適当性	4	健康相談事業については、効果が現れているが、次の段階(カウンセラーの活用など)へ進むことの検討が必要かと思う。	4	過去の痛ましい事件(自殺)を踏まえ、継続的な相談事業の取組が必要と考える。
3 施策の有効性(評価年度の目標達成)	4	病気休職者が大幅に減少した。健康診断の受診率が100%に近づいた。	4	休職者の減少、受診率向上などに寄与している。
担当への指示(今後の展開・協働の可能性・事業見直し・新規事業創出等)	病気休職者等の職場復帰のプログラムの検討を進めてください。メタボリックシンドローム対策に取り組んでください。		試行中の復職プログラムをパターン化して、今後、活用できるように取り組んでください。	
二次評価者コメント	休職者の復職プログラム策定、心の健康相談、メタボ対策など、長期的視点で取り組む必要がある。			基本施策への貢献度 4やや高い
役職 総務部長 氏名 森山 純一				